



|   |                                   |   |
|---|-----------------------------------|---|
| <p>【キャッチフレーズ】</p>  <p>笑顔・花・命</p> | <p>奄美市立大川小・中学校</p> <p>学校だより大川</p> | <p>【校訓】</p> <p>勉学・協力・根性</p>  <p>平成 31 年 1 月 21 日発行</p> |
|---|-----------------------------------|---|



## 脱脂粉乳，ララ，ユニセフ，そして学校給食

校長 前田浩之

私は小学校のころ，給食が苦手でした。あの黄色がかった白い液体，生ぬるい脱脂粉乳（だっしふんにゅう）の匂いがどうしてもいやだったのです。鼻をつまみながら無理矢理飲み込んだのを覚えています。

1 月 24 日から 30 日までは学校給食週間です。歴史をひもとくと，日本で学校給食が始まったのは明治 22 年とのこと。太平洋戦争によって一時中断しましたが，戦後の食糧事情から児童の栄養状態が悪化し，LARA【（ララ）Licensed Agencies for Relief in Asia，米国の民間団体】やユニセフから給食用物資寄贈の申し出があったこともあり，昭和 22 年 1 月から学校給食を再開したとあります。しかし，奄美群島は昭和 28 年まで米軍の信託統治下に置かれたこともあり，文部省から脱脂粉乳が支給されたのは昭和 28 年の 12 月のことでした。ですから，シマグチ講師で学校に来られる高齢者の方々は一律に，「私たちの学校時代は給食がなかった。」と話されています。

脱脂粉乳は今，スキムミルクとして販売され，決してくさいものでもまずい飲み物でもありません。当時のアメリカからの輸送方法や品質管理の問題で，最悪の飲み物になっていたらしいです。しかし，海外からの援助物資であったことを考えれば，不平不満を言うべきではなかったのかも知れません。

私の父は 20 年前に 70 歳で亡くなりました。叔父や叔母から聞いた父の若い頃，給食がなかった学校時代や仕事に行く独身時代。祖母がふかした芋などを弁当として持たせていたそうですが，父は全て幼い妹のために置いていったといひます。妹（叔母）は体が弱く，長くは生きられないと言われていたようで，そういえば，父の亡くなった後，墓前にはいつも花が生けてあり，管理をしていたのはその叔母だったのを思い出します。結局その叔母は父よりも長生きをしたのですが，私の妻の父も 70 代前半で亡くなったのを考えると，成長期の栄養不足は，特に男子の寿命に影響があったのかもしれない。

今は飽食（ほうしょく）の時代です。学校給食の持つ意味は戦後とは全く違います。小児糖尿病やアレルギー。栄養不足よりもバランスの問題等を今の子どもたちは抱えています。また，小学校はともかく中学校に於いては，完全給食を実施していない自治体も多いのです。神戸市，横浜市は 0%（平成 28 年度調査）の実施率です。実施しない理由の一つは施設・設備及び人件費に多額の税金を投入することになるからだそうです。学校給食の完全実施を選挙公約に掲げる九州内の自治体の首長候補者もいることを，九州中学校校長の会で聞いたこともあります。保護者の負担軽減を集票に繋げたい考えだからだそうです。

「人を良くする」と書いて「食」。栄養バランスを細かく計算するだけではなく，味や「地産地消」も意識し，わずか一食 170 円（小学校 中学校は 218 円）で豊かな給食を提供してくれる奄美市給食センターの皆様に感謝しつつ，子どもたちの成長に大きくかかわる「食」について，子どもたちとともに考えたいと思います。

# シマグチ・シマ唄発表会

1年間のシマグチ・シマ唄学習の成果を発表しました。



小1.2:「自己紹介をシマグチで」



小3.4:「シマのユシグトリ(教訓)」



小5.6:「小湊八月踊り」



中1:「フーサンドコネ」



中学2年生による校歌のシマグチ訳

|  |  |
|--|--|
| 一<br>七つの里の 背をいだし<br>永久に息づく大川の<br>ほとりに輝く 楽しき学び舎<br>われらは明るく 輪をつくる    | 一<br>ナナチヌ シマナン マモラッテ<br>レキシ ナガサン フウゴノ<br>フチナンテ ヒカルン ムジラサン ガッコウ<br>ワカダカ ホレサン ワバツクロウ |
| 二<br>山なみひろびろ こだまして<br>声高らかに はばたかん<br>心気高く 真理をきわめ<br>われらは明るく 輪をつくる  | 二<br>ムル ティーチ トドロキエン<br>ディ ドックサ キバリョーロ<br>コーロハ キュラギョラサ マッシグニ<br>ワカダカ ホレサン ワバツクロウ    |
| 三<br>みのり豊かな 花園を<br>受けつぎひらき 培いて<br>わきたつ希望<br>呼ぶよ大川<br>われらは明るく 輪をつくる | 三<br>ハナティチ ハナバティ<br>ウッチ ホデチ ヒキチグン<br>ソシラス ユシグトツ<br>アブルン フウゴウ<br>ワカダカ オボコリス ワバツクロウ  |



中3:「童話のシマグチ訳」

※シマグチは親の世代が話せないことから「消滅の危険にある言語」とユネスコが指定しています。貴重な文化をなくさないためにも、親子での取組が必要です。

| 1月後半～2月前半 主な行事予定 |                                |
|------------------|--------------------------------|
| 1/24(木)          | 奄美市教育委員会学校訪問                   |
| 1/29(火)          | 小学校CRT 検査(学力検査)～30日            |
| 2/5(火)           | 全校朝会                           |
| 2/6(水)           | 奄美市学校保健研究会                     |
| 2/7(木)           | スクールカウンセラー来校<br>愛護センター合同補導     |
| 2/8(金)           | 中3授業参観・学級PTA                   |
| 2/10(日)          | 小学校お別れソフトボール大会                 |
| 2/12(火)          | 中学校学年末テスト ～14日                 |
| 2/14(木)          | 小学校新入生入学説明会・教育講演会              |
| 2/15(金)          | 小学校:小湊小との合同学習会<br>中学校:新入生入学説明会 |
| 2/19(火)          | 大川中校区青少年健全育成連絡協議会              |